

エビデンスで学校を見直す！

～エビデンスをド現場で“どう”つかうのか～

岐阜県養老町立養北小学校・

Institute of Education, University College London

教育エビデンスアドバイザー

森 俊郎

The EPPI-Centre is part of the Social Science Research Unit at the
Institute of Education, University College London



EPPI-Centre

Social Science Research Unit
Institute of Education
University College London
18 Woburn Square
London WC1H 0NR

Tel +44 (0)20 7612 6397
Fax +44 (0)20 7612 6400
Email eppi@ioe.ac.uk
Web eppi.ioe.ac.uk/

エビデンスといっても・・・

- エビですか？タコですか？
- エビデンスは大事だと思うけど・・・
- 組織でエビデンスベースドを進めたいけど・・・



エビデンスを**ド現場**で”つかう”とは
どういうことか？

～個人レベルと組織レベル～

個人レベルで“つかう”

必需の「SICO (シコ)」

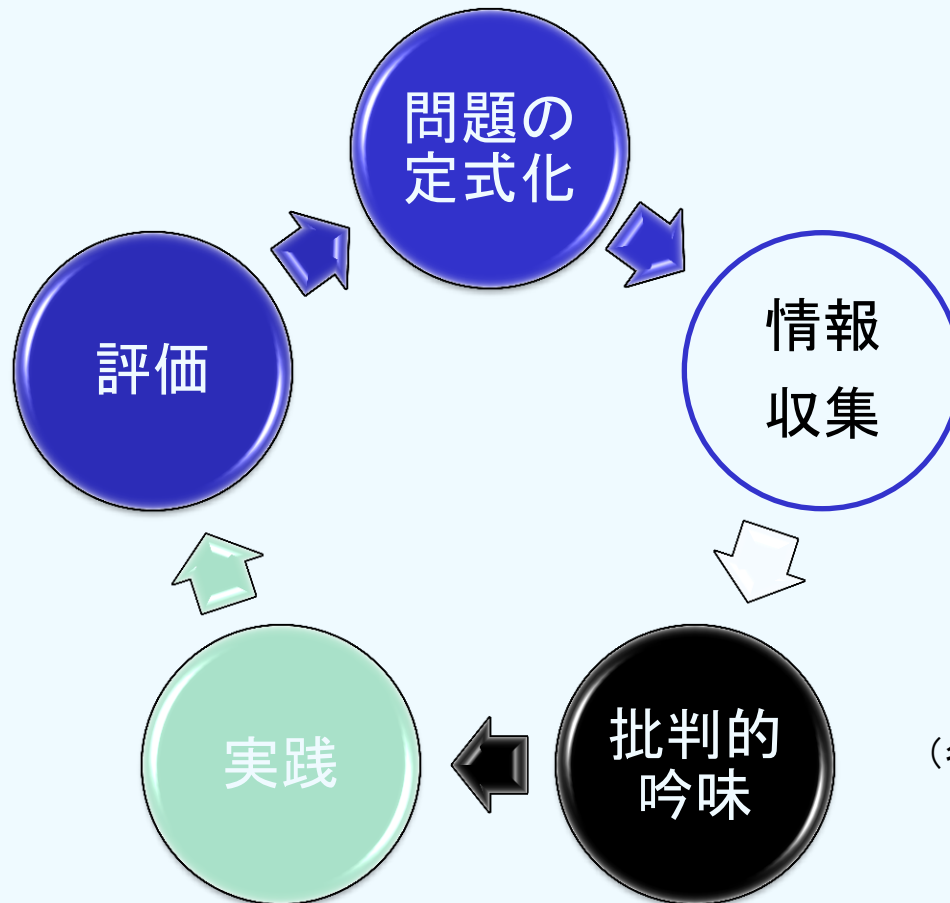
S :Student	「どんな生徒 (児童) に」
I :Intervention	「何をすると」
C :Comparison	「何に対して」
O :Outcome	「どうなるか」

どうなの？



個人レベルで“つかう”

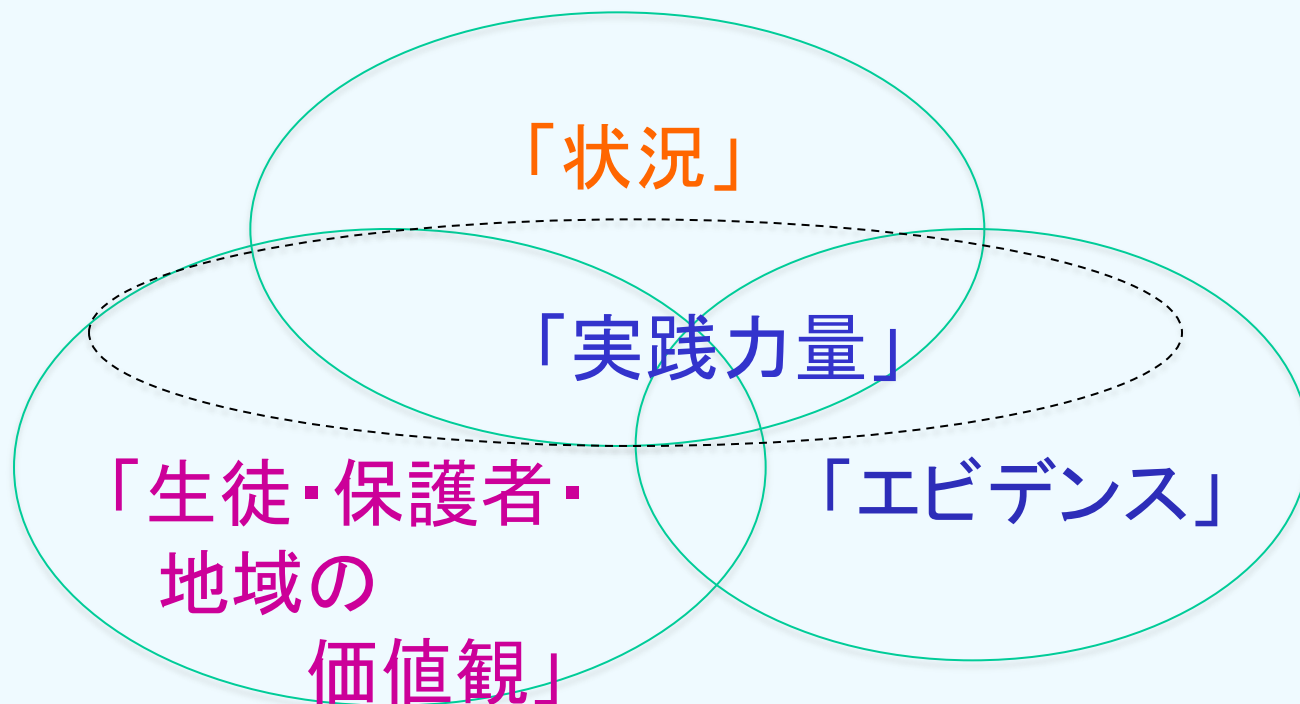
王道の「5ステップ」



(名郷, 1999を一部改変)

個人レベルで“つかう”

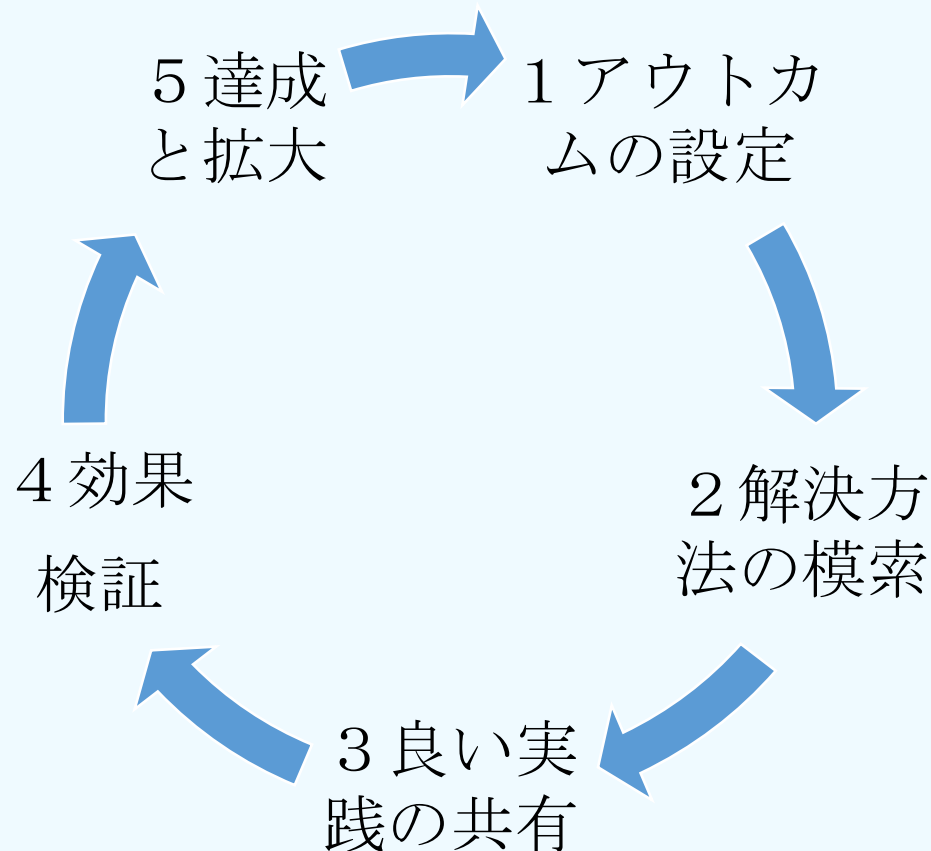
必殺の「4つのフレームワーク」



Haynes RB, Devereaux PJ, Guyatt GH. Clinical expertise in the era of evidence-based medicine and patient choice. *EBM* 2002;7:36-8.を一部改変

組織(学校)レベルで“つかう”

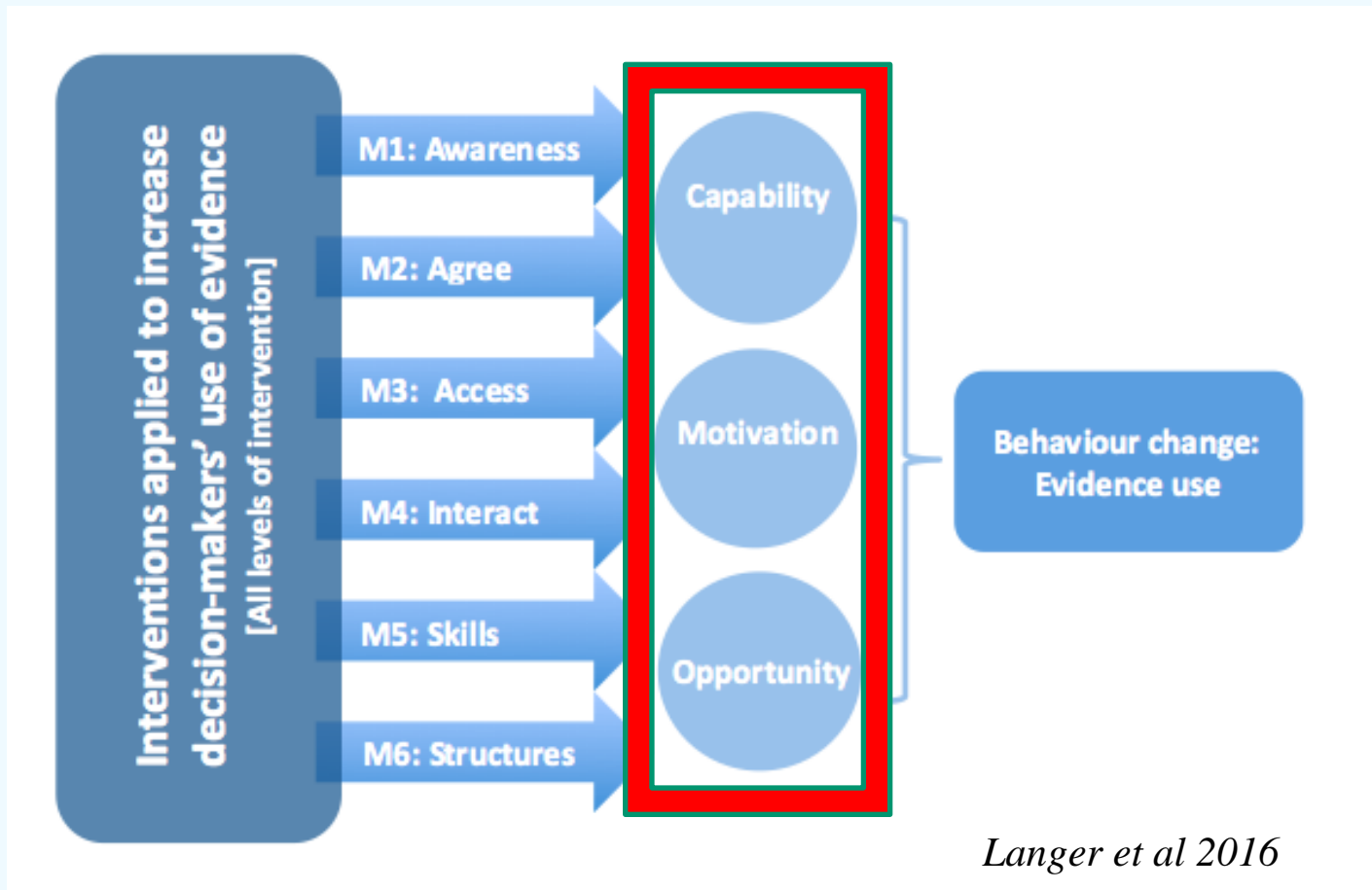
Step of 「学校見直しサイクル」



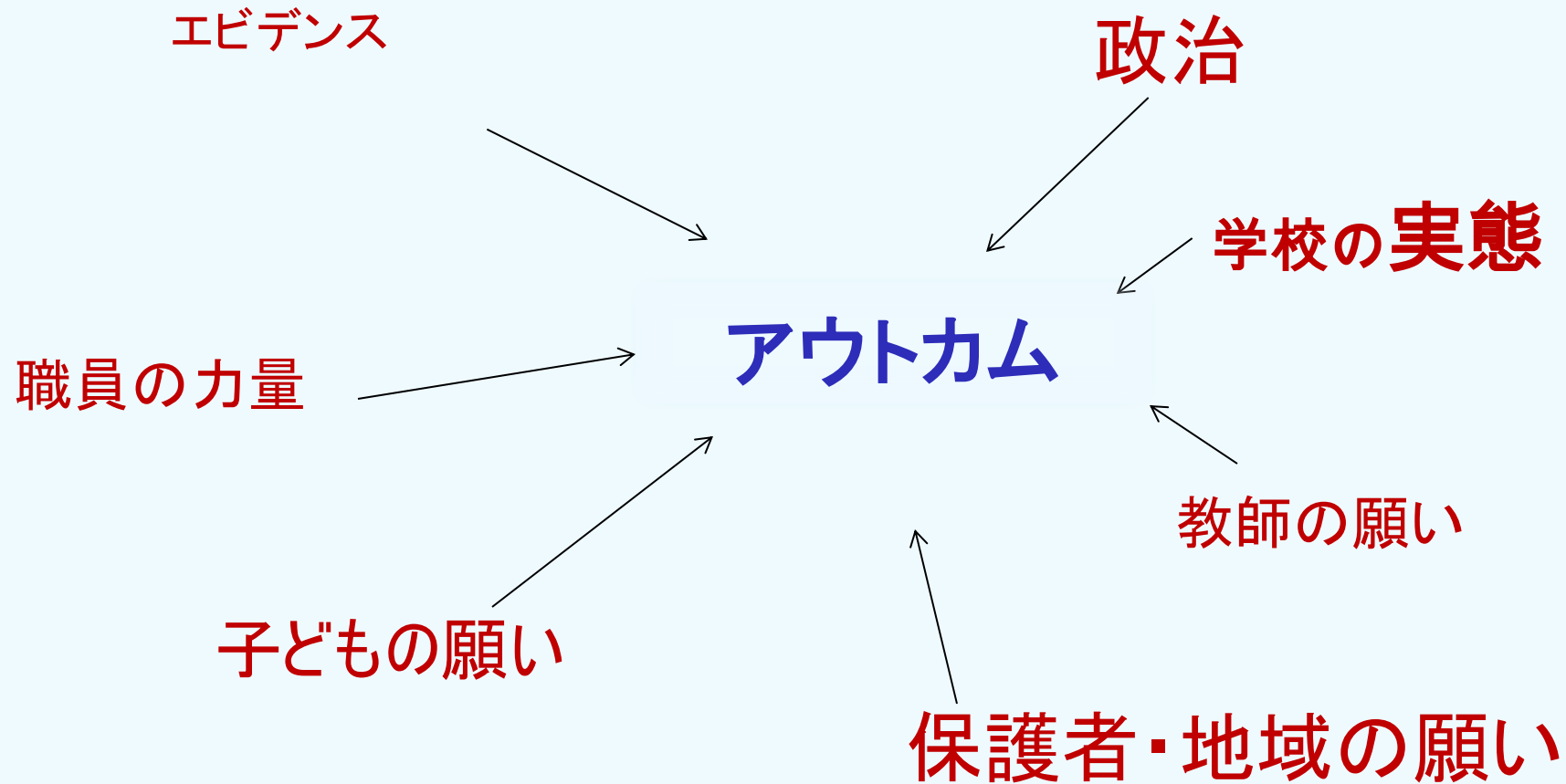
EEF(2019)を
もとに筆者記

組織(学校)レベルで“つかう”

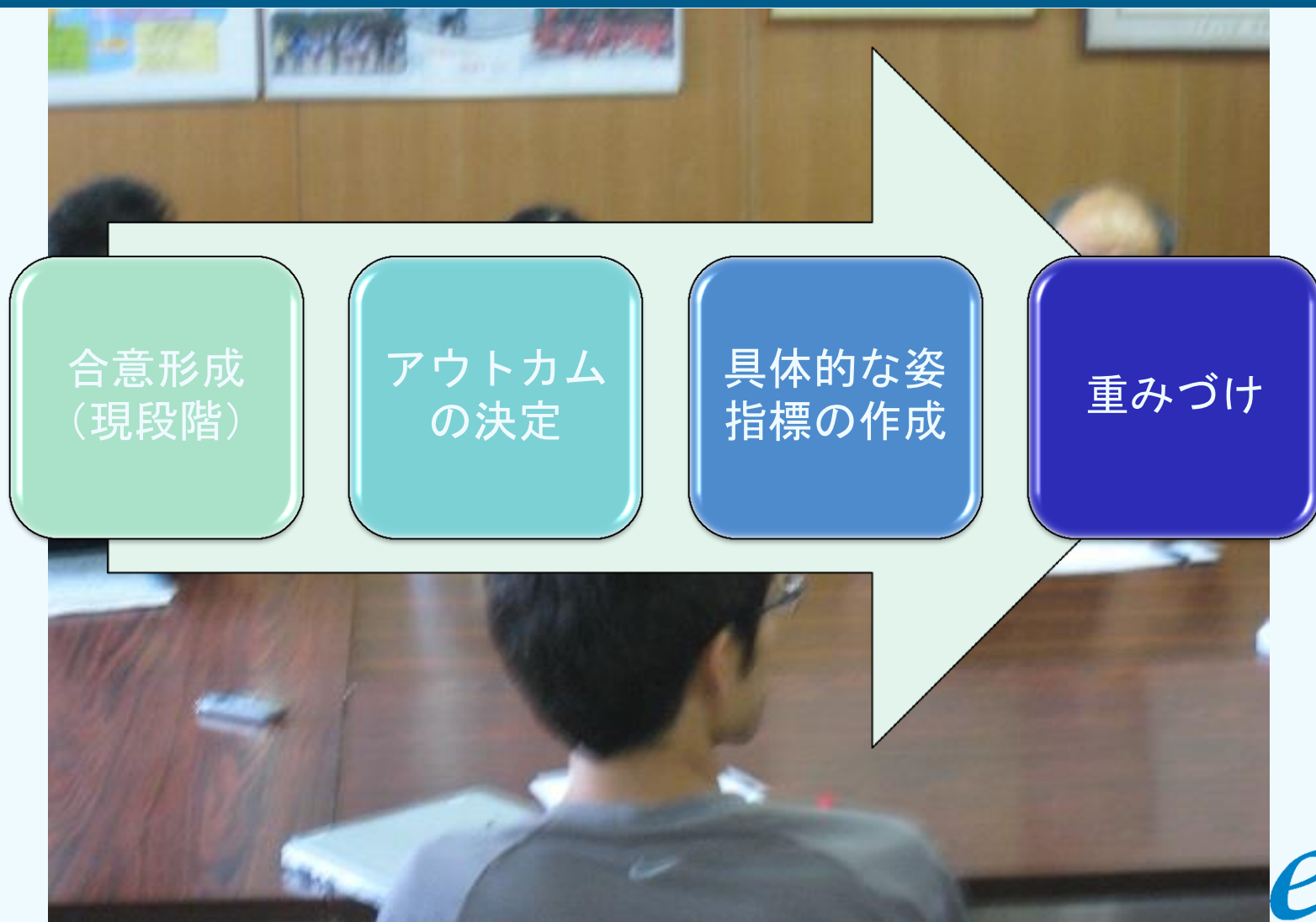
Theory of 「メカニズム」



アウトカムの設定①

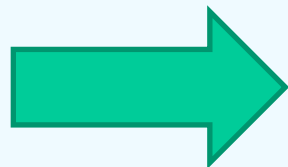


アウトカムの設定②



エビデンスリテラシーの育成(教員研修)

- EBEに関する研修
- エビデンスに基づく授業研究
- 研究推進だより
(SICOや4つのフレームワーク等)



エビデンスリテラシー

年間研修計画の立案

時期	担当教諭	内容	エビデンスリテラシー育成の視点
4月1日	研究主任	校内研究のテーマについて 1H	4つのフレームワーク①
4月3日	研究主任	校内研究 QA0.5H	アウトカムの設定①
4月12日	F先生	家庭学習実践交流 1H	アウトカムの設定②
4月18日	生徒指導主事	授業研究会 2H 6年算数 全校学習規律、学び方指導の共通理解	アウトカムの設定③
4月19日	A先生 全職員	実践交流 1.5H 3年 朝の会、帰りの会での指導の共通理解	情報収集①
5月7日	研究主任	授業研究会 2H 5年理科	アウトカムの設定④ SICO①
5月11日	情報主任	ICT研修 1H (ウェブラーニング)	4つのフレームワーク②
5月16日	O先生	参考文献読み合わせ研修 0.5H	批判的吟味①
5月31日	T先生	授業研究会 2H 2年生活 協調的授業分析法	協調的授業分析法 効果検証
6月6日	A先生	実態把握授業研究会 1H	実態把握
6月12日	G先生	全校授業研究会 2H 1年生活 協調的授業分析法	情報収集② SICO②
6月22日	O先生	授業研究会 2.5H 講師Y先生 2年生活科、4年算数、5年理科、6年社会	批判的吟味②
6月26日	N先生 (M先生)	授業研究会 2.5H 講師H先生 1年生活科、3年国語、6年理科、特別支援	実践への適応①
6月27日	T教諭	WEB研修 1H 講師K先生 深い学びを追究する学習集団	実践への適応②
7月6日	W先生 F先生	授業研究会 2.5H 講師K先生 4年算数	実践への適応③
7月11日	研究主任	1学期の成果と課題 1H	効果検証

- ・ ベーシックスキル
- ・ アドバンススキル

ERのベーシックとアドバンス

ベーシック

- ① アセスメント、実践判断、指導計画を行う能力
- ② 意思決定、実践遂行、児童生徒の変化をモニタリングする能力
- ③ 継続的な自己洞察とスキルを獲得する能力
- ④ 指導における個人的、文化的差異の影響を見きわめる能力

- ⑤ 対人関係能力
- ⑥ 教育学の研究によるエビデンスを適切に吟味し、活用する能力
- ⑦ 必要に応じて活用可能な資源を求める能力
- ⑧ 指導方針に対して説得力のある論拠を準備する能力

アドバンス

原田(2015)をもとに筆者作成

教育エビデンス検索サイト(エビ探)

エビデンスを手軽に検索することのできる日本語のサイト

The screenshot shows the website's search interface. At the top, there is a navigation bar with the site name 'Education Evidence-based education' and links for 'ホーム', '記事一覧', '特集', 'サービスについて', and '有料プラン'. Below this is a search bar with a text input field containing '宿題', a dropdown menu for 'and/or', and a dropdown for '学術分野から選ぶ'. A search button labeled '検索' is to the right, with a link '提携先のサイトを検索' below it. The main content area shows '検索結果' and a list of databases: WWC, EEF, C2, BES, and CUREE. A callout box on the left says '日本語で簡単検索'. A callout box on the right says '2019年9月まで登録料無料!'. At the bottom right, there is a section for '提携サイトから検索' with a search input field.

Education Evidence-based education

ホーム 記事一覧 特集 サービスについて 有料プラン

宿題 and/or 学術分野から選ぶ 検索 提携先のサイトを検索

検索結果

日本語で簡単検索

- WWC
- EEF
- C2
- BES
- CUREE

2019年9月まで登録料無料!

提携サイトから検索

↵

Q

文を読む力(読解力)を高めるにはどうすればいいですか？

↵

A

「文章を要約すること、重要なキーワードをあげること、図でまとめること、何が分かって、何が分からなかったかを自分自身で振り返ること、仲間同士で質問しあったりすること」が有効。

↵

引用文献・研究デザイン

【ランダム化比較試験の要約】 2016年3月発表

https://educationendowmentfoundation.org.uk/public/files/Toolkit/Technical_Appendix/EEF_Reading_comprehension_Toolkit_Technical_Appendix.pdf

研究デザイン:メタアナリシス

原著論文 アウトカムが明確か (アウトカムは4つまで許容)

ランダム化されているか ITT解析か

マスキング: なし 一重 二重 PROBE

追跡率: 追跡期間:中央値 30年

↵

SICO・結果

S どんな人に？

読むことに困難を抱えた8~18歳の人

I どんな方法を？

読みに関する指導法全般

C 何と比較して？

何も指導しない場合

O どんな項目で効果を検討？

過去30年にわたる読むことに関する研究と7つのメタアナリシス(うち5つは10年以内にまとめられたもの)の効果量を比較

↵

結果

読解力に関する指導について、効果量が0.10から0.52の幅があった。

読解力を高める教員研修は、教師一人あたり1200€、生徒一人あたり48€である。

ツールと
システム

あれもこれもで困ってしまったA先生

- A教諭「先日のB先生の算数の授業の時に、□→□と黒板に書いて、授業の最初と最後に子どもたちに自分の学びがどうなったのか1から4の数字で振りかえさせるという実践がありました。①これって、低学年でもやった方がいいですか。今度、自分の公開授業でもやった方がいいのかなと思って...」
- H教諭「ん～、②低学年では、やっていくのは無理じゃないかな。」
- T教諭「高学年は、とくに算数でやっていますね。」
- M教諭「あれって、メタ認知を育てるものですよ？低学年ではちょっと難しいような気がします。」
- H教諭「ん～全校としてやっていこうって話でしたっけ？」
- T教諭「③2年くらい前から、やっていこうって話じゃなかったでしたっけ？今までなんとなく高学年ではやってきたけど、やった方がいい気はする。」
- H教諭「現状、どの教科でやるって難しい気がするね。④低学年でメタ認知ってどうなのだろう…やらなくていいのでは？」
- A教諭「⑤どうしましょう。」

異なる意見から
疑問が出る。

エビデンスアドバイス

具体を通した
ERの育成

- 筆者 「昨日、メタ認知について職員室で話題になっていたね。あれについて、ちょっと調べてみたよ。⑥メタ認知はやっぱり大事らしい。だから、やらなくてよいとまでは言えないようだね。メタ認知は3年生ぐらいからとくに育つらしい。あと、自分で学習の計画立てたり、自分の学習について責任をもたせたりすることが大事らしい。そう考えると、低学年の段階で、メタ認知を育てるためには、□→□の方法もやれたらいいけど、自分の学習に責任をもたせるという意味では、学習道具を準備しましょうとか、姿勢よく授業を受けましょうとか、今日はどうやって学習していけばいいかな？とか聞いてみたり、自分が学習をしっかりとできたかどうか考えさせてみたりすることがメタ認知の育成になるのではないかな。どうやれそう？この前、研修でやった3つのフレームワークで考えてみたら？」
- A教諭「なるほど、すごく分かりやすいですね。**すっきりしました。**⑦自分の学習態度ということからスタートしたらもっとできることがあります。今度の研究授業でこれ参考にして、授業考えてみます。あと、SICOでも考えないといけないですね。学級の子どもたちがどんな実態かによって変わりますよね。実際、どれぐらい自分の学びを振り返ることができるのか**子どもたちの様子**を見てみます。」

実践校の先生たちの声

「すっきりしました」(20代女性教諭)

「究極のスリム化ですね！」(20代男性教諭)

「エビデンスは調味料」(50代女性教諭)

「まだまだ勉強しないといけないと思ったわ」(30代女性教諭)

「30年で初めて校内研究やってよかったと思った」

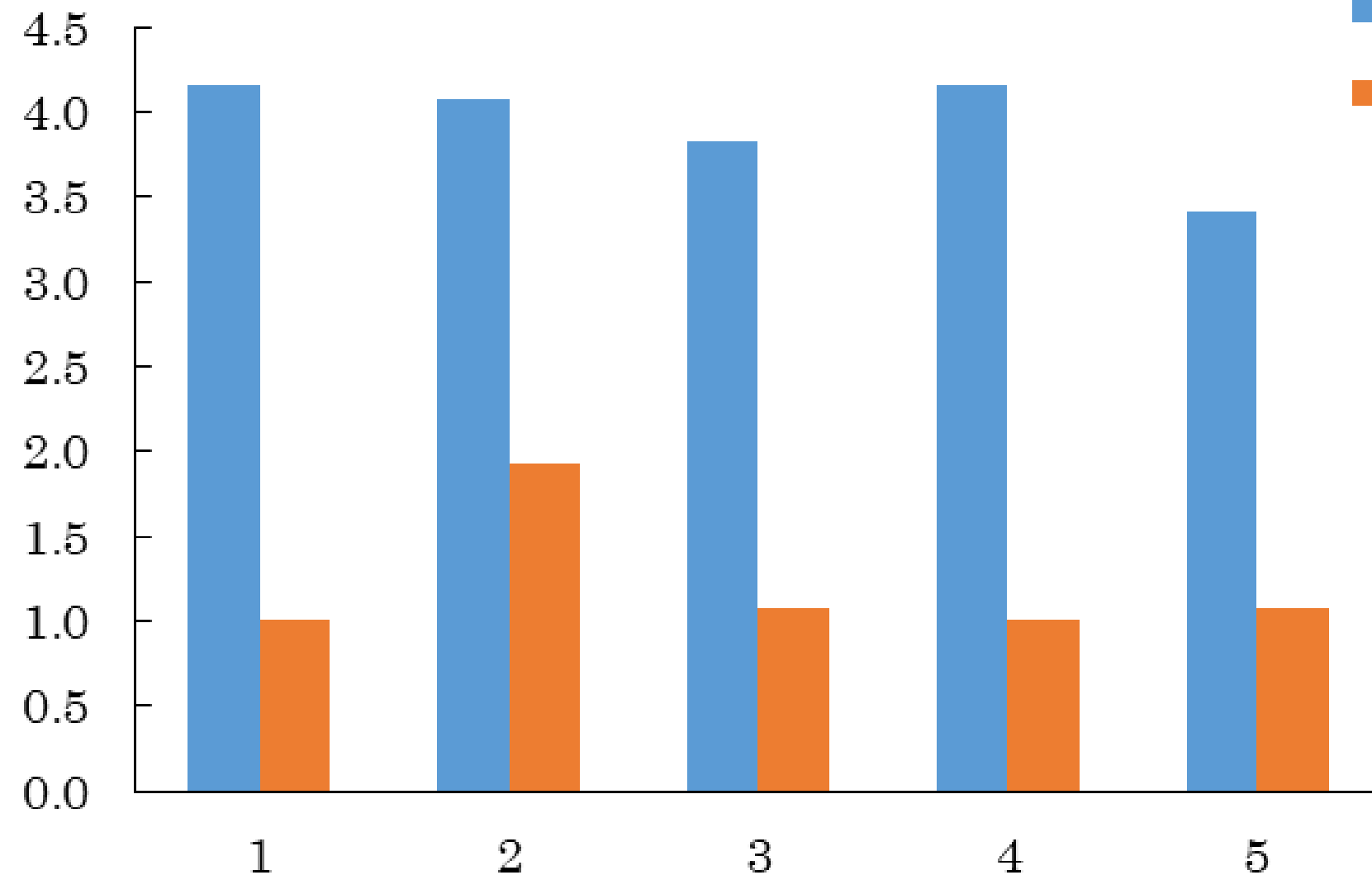
(50代男性教諭)

「こんな楽しい校内研究は初めて！」(40代女性教諭)

教師ERの変化

エビデンスリテラシーの向上

■ 介入群
■ 統制群



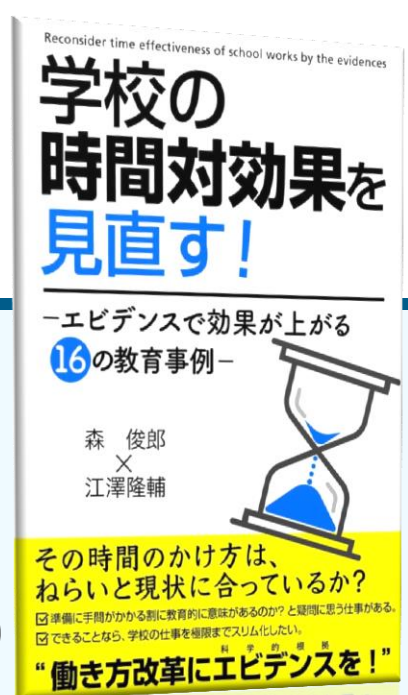
2019年へ

- さらに他の教科でも挑戦したい！
⇒ 全校研究授業の実施！
- 働き方改革へ挑戦
⇒ 地域No1の残業時間の少なさ！
- このように楽しく続けたい
⇒ 教職組合アンケート 満足度100%！

エビデンス活用の個人と組織の違い

	個人	組織
時間	<ul style="list-style-type: none">・ 速い 即断即決が求められることが多い。	<ul style="list-style-type: none">・ 遅い 関係者の納得が必要。
モチベーション	<ul style="list-style-type: none">・ 本人（波あり）	<ul style="list-style-type: none">・ 組織風土による。 法的制度があるとなおよい。
エビデンス仲介人	<ul style="list-style-type: none">・ 本人	<ul style="list-style-type: none">・ 仲介人必須
インフラ整備	<ul style="list-style-type: none">・ 個人	<ul style="list-style-type: none">・ 集団によって必要
プロセス	<ul style="list-style-type: none">・ 個人内	<ul style="list-style-type: none">・ オープン化
楽しさ	<ul style="list-style-type: none">・ おもしろい	<ul style="list-style-type: none">・ 超おもしろい

教育 × 国際 × ド現場



- What Works Global Summit 2019
- 『学校の時間対効果を見直す！ーエビデンスで効果が上がる16の教育事例ー』学事出版
- 『エビデンスに基づく教育の闘を探る』春風社
9月発売
- エビ探
(教育実務家向けエビデンス検索サイト)